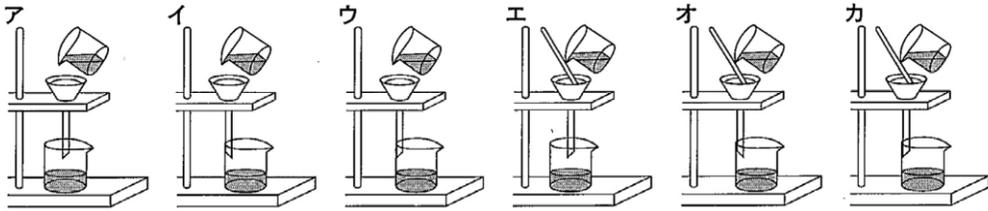


補充問題 熟技 8 実験器具

問題 ① ろ過の方法として適切なものを次のア～カから1つ選んで、その符号をかけ。



(兵庫県)

問題 ② 次の図2は実験1, 実験2で使ったガスバーナーです。ガスバーナーに点火してから炎の大きさと色を調節するまでの操作について正しく述べているものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ただし、AのねじもBのねじも、はじめはしまっているものとします。

ア Aのねじを回してガスを出して点火し、炎の大きさを調節する。その後、Bのねじだけを回して炎の色を調節する。ねじは両方とも、Pの方向に回すとゆるみ、Qの方向に回すとしまる。

イ Aのねじを回してガスを出して点火し、炎の大きさを調節する。その後、Bのねじだけを回して炎の色を調節する。ねじは両方とも、Qの方向に回すとゆるみ、Pの方向に回すとしまる。

ウ Bのねじを回してガスを出して点火し、炎の大きさを調節する。その後、Aのねじだけを回して炎の色を調節する。ねじは両方とも、Pの方向に回すとゆるみ、Qの方向に回すとしまる。

エ Bのねじを回してガスを出して点火し、炎の大きさを調節する。その後、Aのねじだけを回して炎の色を調節する。ねじは両方とも、Qの方向に回すとゆるみ、Pの方向に回すとしまる。

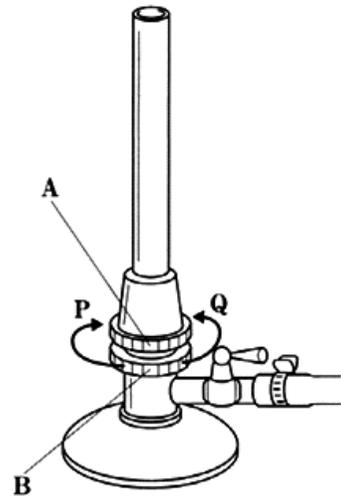


図2

(埼玉県)

問題 ③ 岩石の小片を観察する場合、ルーペの使い方として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、図中の矢印は、岩石、ルーペ、顔を動かす方向を表している。



(兵庫県)

塾技 8 補充問題 解答・解説

解 ①

「塾技 8 ②」のろ過の3つのポイントを満たしているのはカである。

答 ➤ カ

解 ②

Aは空気調節ねじ、Bはガス調節ねじである。「ガスは空気より重いので下」や、「ガス（おなら）は下から出る」などと覚えるとよい。

空気調節ねじ・ガス調節ねじともに反時計回り（Qの方向）に回すと開く（ゆるむ）。「塾技 8 ③」より、ガス調節ねじBを回して点火した後、ねじBを押さえながら空気調節ねじAをQの方向に回し、青い炎になるように調節する。以上より、適切な記号はエとわかる。

答 ➤ エ

解 ③

p171「塾技 8」用語チェックの4. ルーペ（使用法）を参照。

ルーペを使用するときは、まずルーペを目に近づけて持ち、動かせる試料の場合は試料を前後に動かし、動かせない試料の場合は自分が前後に動く。ルーペは動かさないことに注意する。本問の試料は岩石の小石なので、岩石の小石を前後に動かしてピントを合わせる。以上より、適切な符号はウとわかる。

答 ➤ ウ